

Project Sol: コマンドライン 虎の巻 (Ver 10.2)

このファイルは、開発・運用中に使用する全ての自動化コマンドを一覧にしたチートシートです。

⚠ 実行前の重要事項 (AWSサーバー運用)

- 仮想環境に入る (必須) AWSサーバー上で `cli.py` を実行する際は、必ず仮想環境を有効化してください。

```
# ログイン後、まずこれを実行
source ~/docker-first-ctf/venv/bin/activate
```

- Pythonのパス 仮想環境が有効化されている限り、コマンドは `python3 tools/cli.py <command>` ではなく、`python tools/cli.py <command>` で実行可能です。（`python3` の代わりに `python` を使います）

1. 🚀 完全自動化コマンド

コマンド	説明	実行タイミング
<code>python tools/cli.py auto-add</code>	【最強】 AIによる問題作成 → 解説生成 → DB登録 → ビルド → SNS投稿生成まで、全てを一括で実行します。	新しい問題を追加したい時。 (毎週金曜にCronが実行しているのもこれです)

2. ✂️ 環境リセット・クリーンアップ

開発中のトラブル解消や、本番前のデータ一掃に使います。

コマンド	引数	説明	使う場面
<code>python tools/cli.py reset</code>	なし	【超重要】 DBの全データ、関連するDockerコンテナ、Dockerイメージを全て削除します。	開発環境をきれいにしたい時。
<code>docker rm -f \$(docker ps -aq)</code>	なし	実行中のDockerコンテナを全て停止・削除します。システムが不安定な時に実行してください。	データベースの型を変更した後のデータ初期化。
		※実行前に確認プロンプトが出ます。	

ポートが解放されない時。

`docker compose restart api frontend` なし APIとフロントエンドを再起動し、最新のコードと環境変数を読み込みます。.env ファイルを変更した後。

3. 開発・デバッグ用コマンド（個別実行）

`auto-add` の中身を個別に実行したり、生成内容を確認したりするためのコマンドです。

コマンド	引数	説明
<code>python tools/cli.py draft <JSONパス></code>	なし	AIにシナリオ・コード・解説を考えさせ、JSONファイルだけを生成します。（DB登録はしません）
<code>python tools/cli.py deploy <JSONパス></code>	JSONファイルへのパス	指定したJSONファイルの内容をDB（Supabase）に登録します。
<code>python tools/cli.py build <JSONパス></code>	JSONファイルへのパス	指定したJSONに基づいて、Dockerイメージをビルドします。
<code>python tools/cli.py generate <JSONパス> sns</code>	JSONファイルへのパス	指定したJSONの内容から、SNS投稿文（宣伝）を生成します。